

成果の説明書

(氏名) 田戸岡 好香	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>○教育</p> <p>「社会心理学」, 「社会調査 (量的調査)」, 「社会調査演習」, 「基礎演習」, 「演習 I」, 「演習 II」といった授業を担当した。演習 II は 11 名のゼミ生の卒業研究を指導した。</p> <p>○研究活動</p> <p>2021 年度は科学研究費補助金 (若手) を受けて, 『在留外国人への援助政策の賛意を促進するには: ステレオタイプの内容に注目して』という研究課題の下, オンラインでの調査および実験による研究を行った。また, 共同研究では, コロナ禍における人の心理・行動に関する研究を行った。</p> <p>具体的な成果は以下のとおりである。</p> <p>【学術論文】</p> <p>樋口収・新井田恵美・田戸岡好香 (2021). 心理的特権意識と新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのガイドラインの非遵守との関連 パーソナリティ研究, 30, 148-150.</p> <p>石井国雄・田戸岡好香 (2021). 集団状況におけるピンクの着衣が自己認知に及ぼす影響 清泉女学院大学人間学部研究紀要 18, 29-39.</p> <p>【学会発表】</p> <p>田戸岡好香・石井国雄(2021). 募金広告の内容が在留外国人に対する募金行動と援助政策の賛意に及ぼす影響 日本心理学会第 85 回大会発表 (@明星大学, 2021.09.01-08, PC-094, web プログラムのため, 頁番号なし)</p> <p>田戸岡好香・石井国雄・樋口収 (2021). 新型コロナウイルスワクチンの有効性の認知と外国人態度の関係: 行動免疫システムの観点から 日本社会心理学会第 62 回大会発表論文集, 18. (@帝京大学 web 発表 演題番号 206, 2021.08.26-27)</p> <p>小森めぐみ・田戸岡好香 (2021). ポジティブなメタステレオタイプの内容が被災した外集団への救助判断に及ぼす影響: 災害救助車と援助隊の国際派遣を用いた検討 日本心理学会第 85 回大会発表 (@明星大学, 2021.09.01-08, PC-021, web プログラムのため, 頁番号なし)</p> <p>石井国雄・田戸岡好香 (2021). ピンクと青に関する潜在的ジェンダー・ステレオタイプの検討 日本社会心理学会第 62 回大会発表論文集, 201. (@帝京大学 web 発表 演題番号 1910, 2021.08.26-27)</p> <p>上記に加えて, 新型コロナウイルス感染症流行下における偏見に関する調査を行い, 学術論文を執筆し学術誌に投稿, 審査中である。また, 心理学実験・調査を 3 件行い, その成果を学術論文にすべく, 執筆中である。翻訳書籍の一部を担当し, 2022 年度に発刊予定の書籍が 2 冊ある。</p> <p>○学会・社会における活動</p> <p>① 心理学検定局運営委員</p> <p>② 『心理学研究』, 『社会心理学研究』, 『実験社会心理学研究』誌の査読を行った。</p> <p>③ 地域政策学会の理事として, 『地域政策研究』の発刊など, 学会運営を行った。</p>	

2 その他の事項

学内における学生指導委員として、本学の学生ボランティア活動支援室の周知活動や運営を行った。

3 次年度以降の計画・抱負

教育面では、演習授業において、着実な指導を行い、学生の成長を促したい。とくに実験や調査の実施を行う中で、研究リテラシーを養うことを目指す。

講義科目では、コロナ禍における社会問題について、最新の研究知見を取り入れながら、心理学の観点から解釈するような講義を行う予定である。

研究面では、科学研究費を受給している研究を引き続き進める。これまで行った実験結果を投稿論文の形にするなど、発信することにも力を入れていきたい。また、引き続き、共同研究も積極的に行う。

学内では、ボランティア活動支援室の周知活動を続ける。また、本学の地域政策学会の理事として学会運営を引き続き行う。